

日立スイッチギヤ

HITACHI
Inspire the Next

24kV キュービクル形

真空絶縁スイッチギヤ (C-VIS)

Cubicle type Vacuum Insulated Switchgear

ガス絶縁スイッチギヤ (GIS) のコンパクト性&信頼性と
気中絶縁スイッチギヤ (AIS) の使い易さを融合させた
日立の新世代スイッチギヤ



キュービクル形真空絶縁スイッチギヤ

さらに進化をとげた、新世代スイッチギヤ

キュービクル形真空絶縁スイッチギヤは、GIS (ガス絶縁スイッチギヤ) のコンパクト性・信頼性、およびAIS (気中絶縁スイッチギヤ) の使い易さを日立の真空技術で融合させた新世代のスイッチギヤです。

キュービクル形真空絶縁スイッチギヤは地球環境だけでなく、設置施工者や保守員にも優しいスイッチギヤです。

真空絶縁スイッチ

二点切り三位置構造の真空スイッチは遮断器と断路器の両機能を有しており用途に合せた使用が可能です。

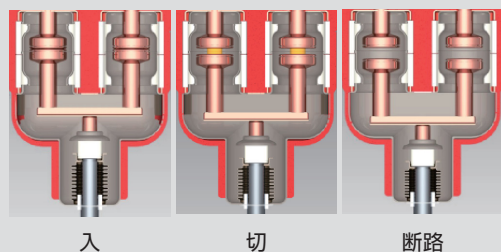
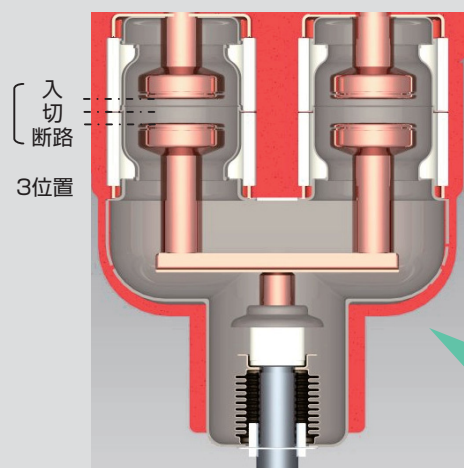
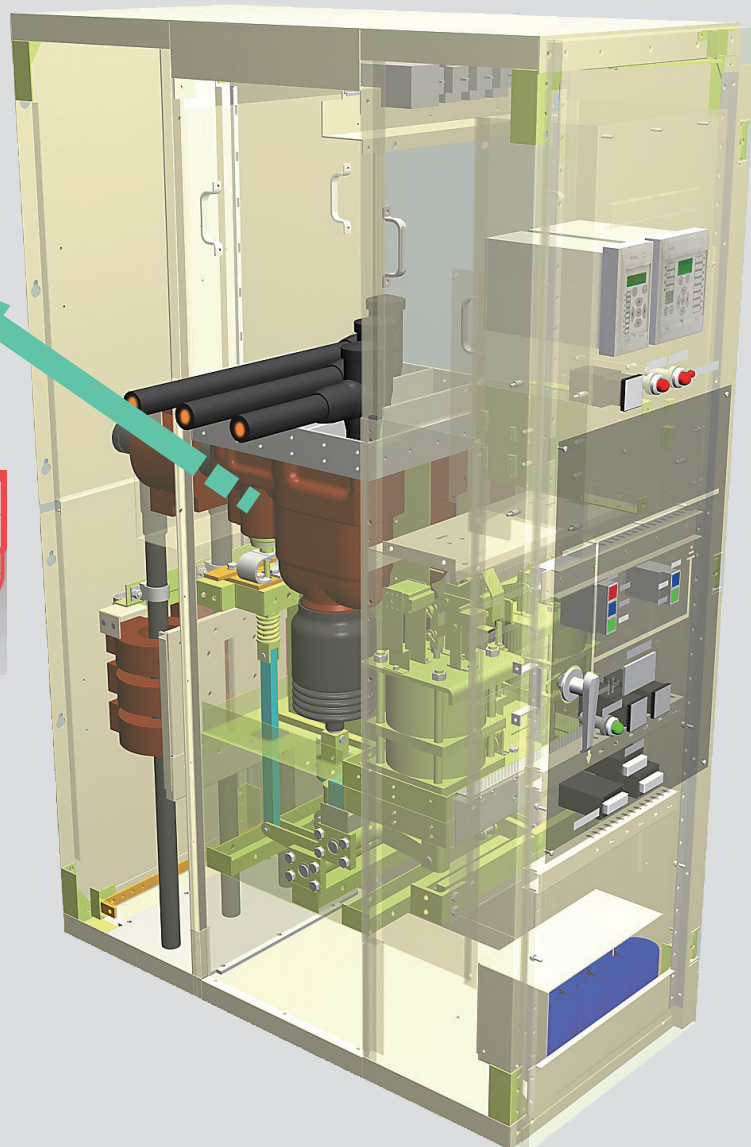
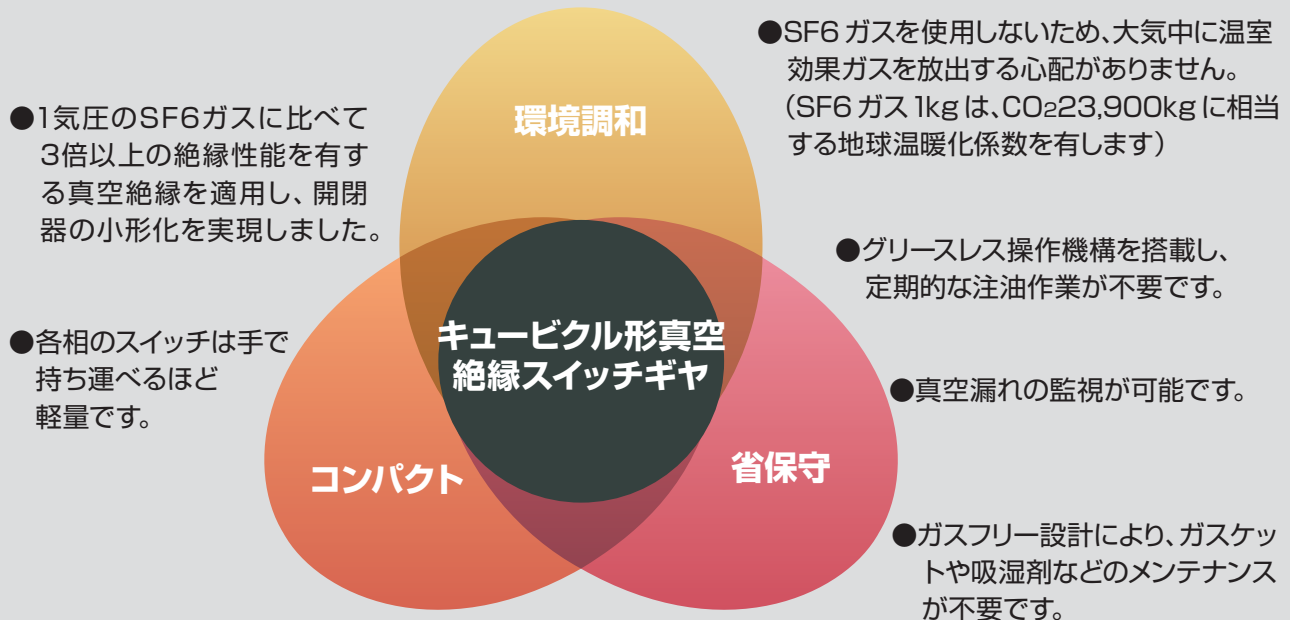


図. 真空2点切り3位置スイッチ





信頼性

- 日立独自のグリースレス電磁操作器により、長期間の安定動作を実現。
- 真空スイッチの封止には、真空遮断器で長年実績のある真空ろう付け技術を適用し、封止部の信頼性を確保。
- 日立独自の二点切り三位置形真空スイッチにより、遮断・絶縁の両性能を確保。

安全性

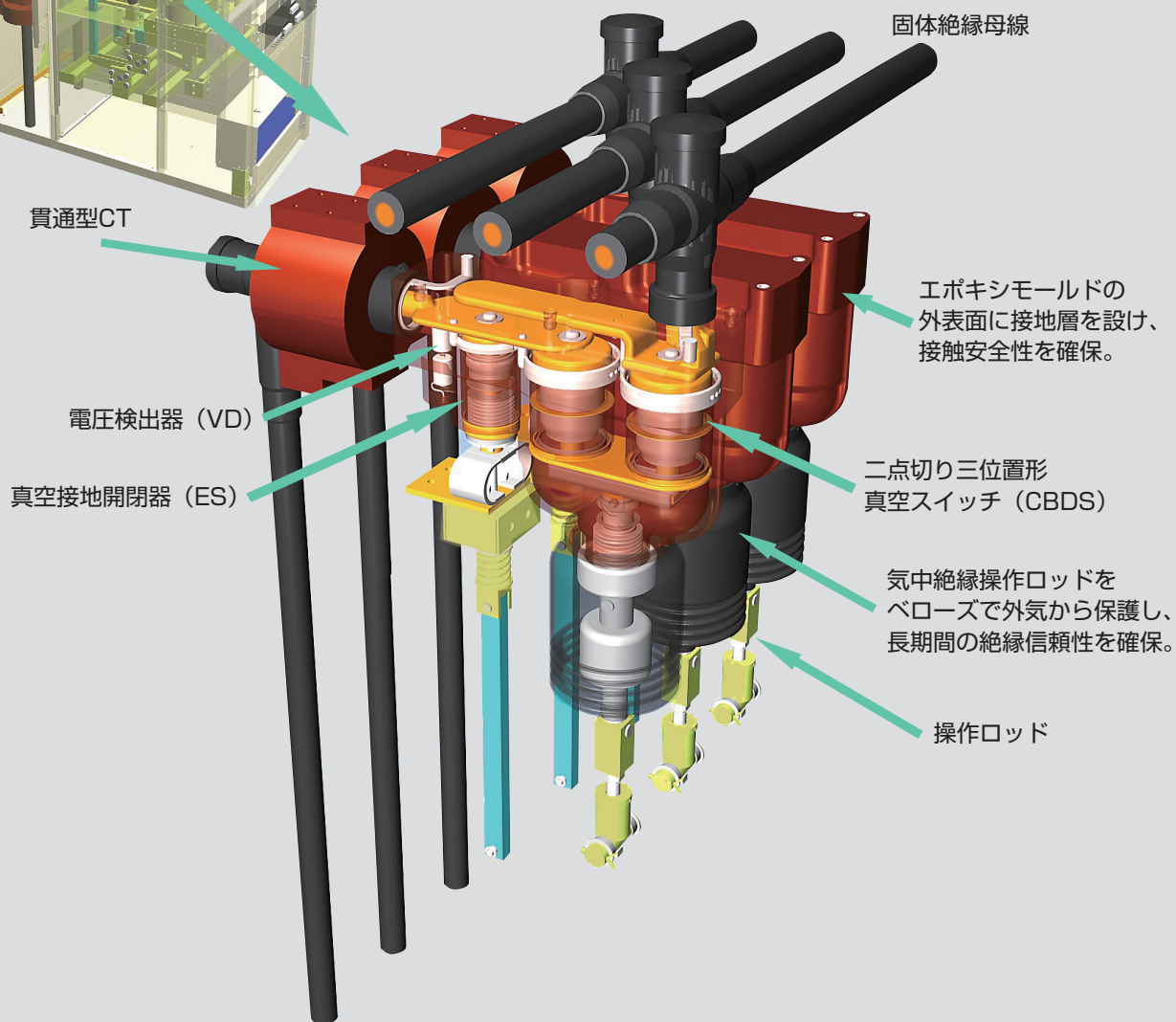
- 相分離構造による相間の短絡事故を防止。
- 真空容器内で、万一、アーク事故が発生しても、危険なガス圧力の上昇は発生せず、圧力開放装置が不要。
- 真空とエポキシモールドの二重絶縁構造により、万一の真空漏れが発生しても地絡事故を回避。
- 真空接地開閉器により、万一の誤操作に対する短絡投入性能を確保。

耐環境性

- モールドされた真空スイッチは、結露・塩害や腐食性ガスの影響を受けにくく、長期信頼性を確保。
- 真空容器と操作機構の回転軸などはステンレス材で製作し、耐環境性を向上。

真空絶縁スイッチギヤの基本構造

人と地球環境に優しい真空絶縁スイッチギヤ



相ごとに、真空スイッチ、真空接地開閉器、ケーブルブッシング、母線ブッシング、VDを一体モールドしてユニット化し、小形・軽量化を実現しています。

真空圧力監視

真空スイッチの真空容器は、金属とセラミックで構成されています。金属容器は図1に示されるように、絶縁物で覆われています。万一、真空漏れが発生した場合、真空容器内の導体と金属容器間で放電が発生し、金属容器の電位が上昇します。モールドした測定電極によって、図2のように、この電位上昇を検出し、常時真空漏れが確認できます。

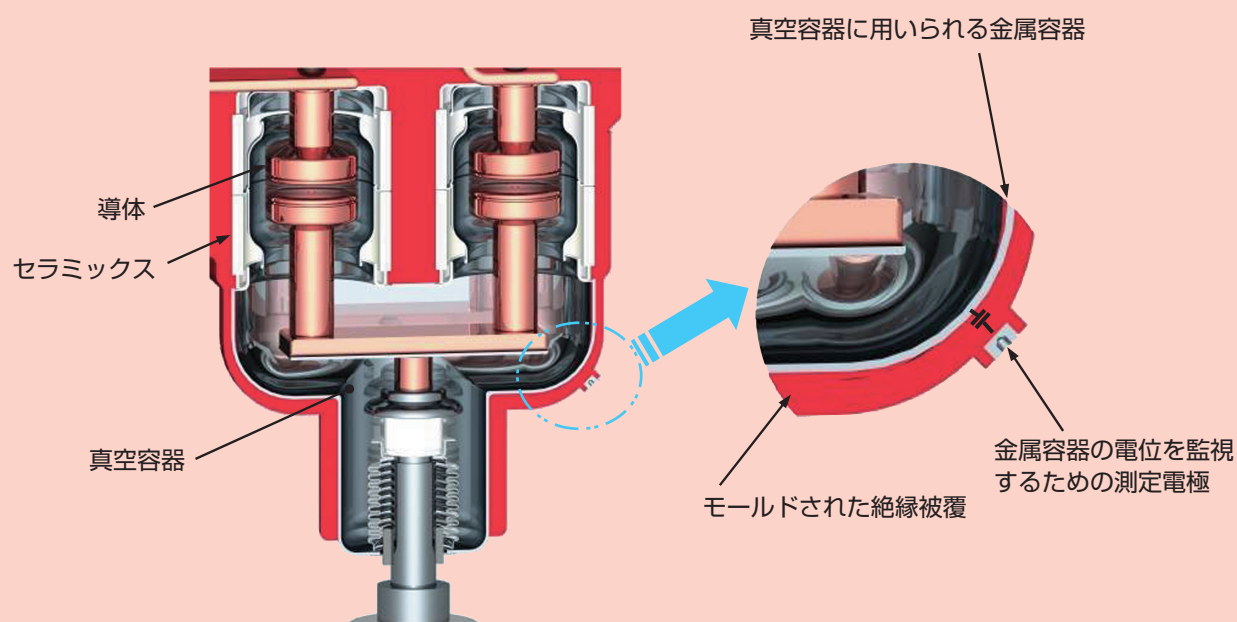


図1 真空容器の構造

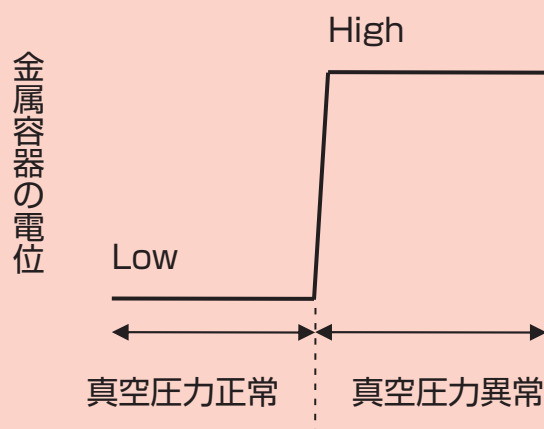
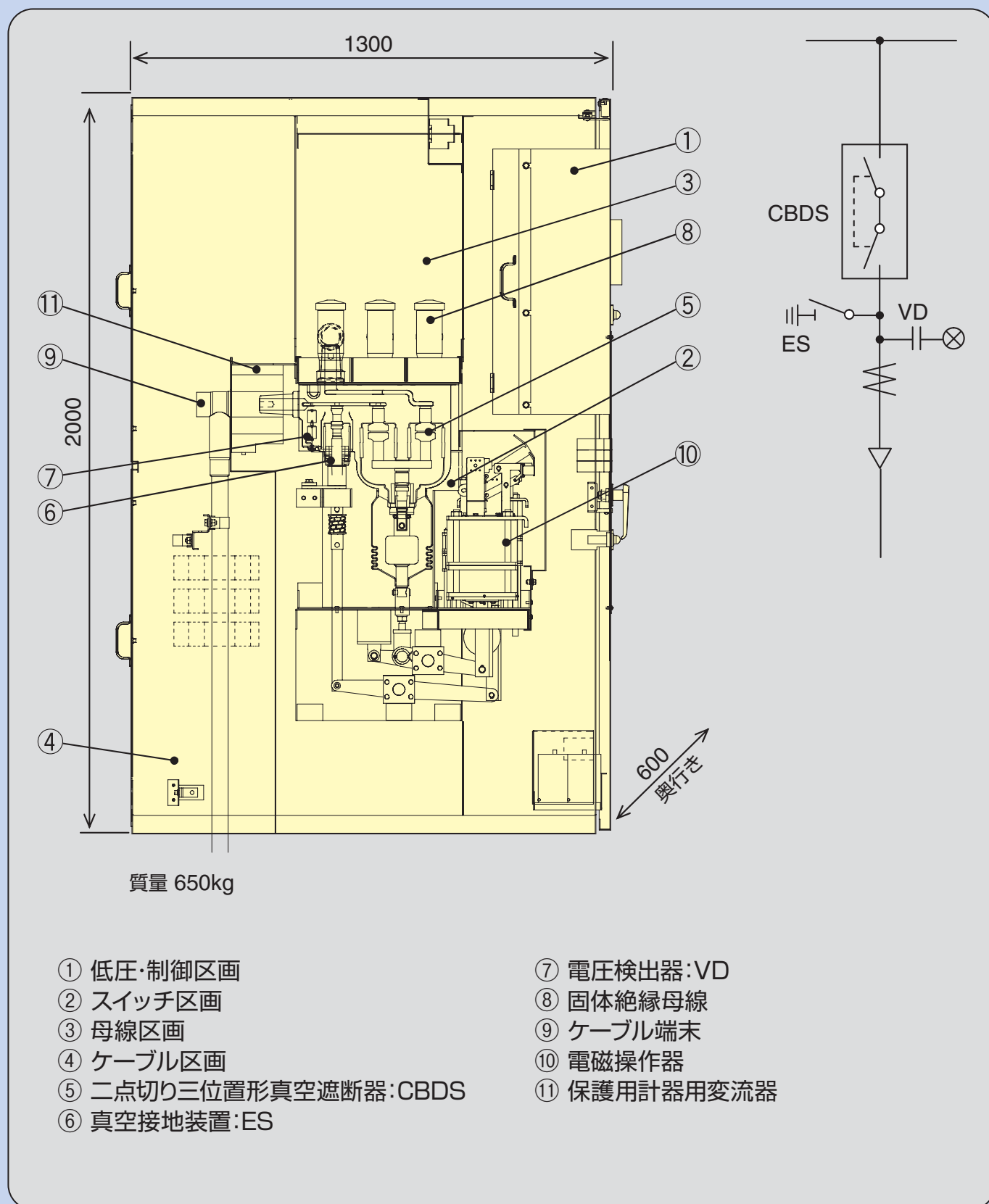


図2 真空漏れの監視

スイッチギヤの構造

フィーダ盤



定格

定格電圧			kV	24
定格周波数			Hz	50/60
定格商用周波耐電圧			kV	50
定格雷インパルス耐電圧			kVp	125
定格ピーク耐電流			kAp	65
定格短絡投入電流			kAp	65
定格短時間耐電流 3秒			kA	25
定格遮断電流			kA	25
定格電流－母線			A	1250
定格電流－フィーダ			A	630/800/1250
スイッチギヤ	幅	フィーダ盤	mm	600
		母線区分盤	mm	600
		計測器盤	mm	600
	奥行き	フィーダ盤	mm	1300
		母線区分盤	mm	1300
		計測器盤	mm	1300
	高さ		mm	2000
	質量	フィーダ盤	kg	650
		母線区分盤	kg	750
計測器盤		kg	750	

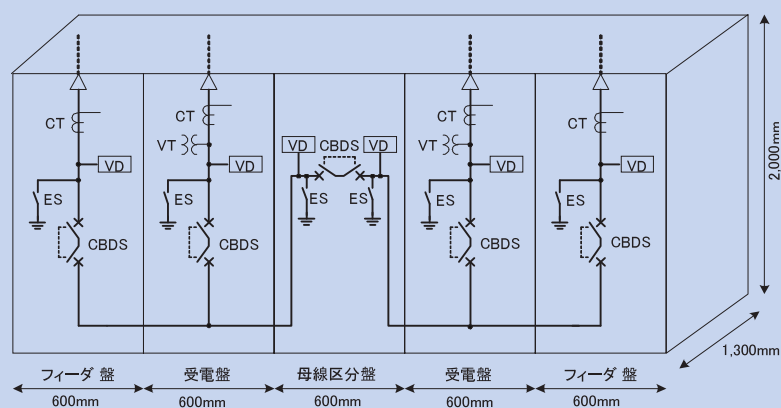


図. C-VIS回路構成の適用例 (屋内. 定格電流600A)

準拠規格 JEM1425, JEC2300, JEC2310
 (2000) (1998) (2003)
 IEC60694, IEC6227-100, IEC6271-200
 (2002) (2003) (2003)



ご注意

- 安全のため、本製品をご使用の際は、「取扱説明書」、「マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本カタログに記載の事項が変更されている場合がありますので、ご注文の際は改めてご確認をお願いします。
- ご使用環境については、カタログ、取扱説明書、マニュアルに記載されている範囲とします。
高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの多い環境で使用しないでください。火災、故障、感電、誤作動の原因となることがあります。
- 安全のため、製品の取り付け、配線も取扱説明書、マニュアルに従ってください。接続は、電気工事・電気配線などの専門技術を有する人が行ってください。異物の混入にもご注意ください。
- 本カタログに記載された製品は、使用用途・場所などを限定するもの、定期点検を必要とするものがあります。お買い上げの販売店または当社にご確認ください。
- 万一製品が故障することによって人命にかかわるような危険、および重大な損害の発生が予測される設備への使用に際しては、重大事故にならないよう安全措施を行ってください。
- 本カタログに記載した製品は、製造元が当社でない場合がありますので、詳細は専用カタログをご参照ください。

環境・省エネに貢献する



お問い合わせ営業窓口

本社・営業統括本部	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	TEL (03) 4345-6041
関東地区窓口	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	TEL (03) 4345-6045
北日本支社	〒985-0843	宮城県多賀城市明月2丁目3番2号	TEL (022) 364-2710
北海道支店	〒063-0814	北海道札幌市西区琴似四条一丁目1番30号	TEL (011) 611-1224
福島支店	〒963-8041	福島県郡山市富田町字町西32番2号	TEL (024) 961-0500
北陸支社	〒939-8213	富山県富山市黒瀬81番1号	TEL (076) 420-5711
中部支社	〒456-8544	愛知県名古屋市中熱田区桜田町16番17号	TEL (052) 884-5811
関西支社	〒660-0806	兵庫県尼崎市金楽寺町一丁目2番1号	TEL (06) 4868-1230
四国支店	〒761-8012	香川県高松市香西本町142番地5号	TEL (087) 882-1192
中国支社	〒735-0029	広島県安芸郡府中町茂陰一丁目9番20号	TEL (082) 282-8112
九州支社	〒812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭五丁目9番26号	TEL (092) 651-0141
エンジニアリング事業推進本部	〒135-8422	東京都江東区福住一丁目13番12号	TEL (03) 3643-1117
海外営業企画部	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	TEL (03) 4345-6529

全国サービスステーション・ネットワーク

北海道地区	中部地区
北海道 (011) 611-4121	中部 (052) 884-5812
東北地区	静岡 (0545) 55-3260
東北 (022) 364-4121	近畿地区
福島 (024) 961-0500	大阪 (06) 4868-1201
秋田 (018) 846-9933	京都 (075) 661-1081
八戸 (0178) 41-2711	滋賀 (0748) 46-6606
関東・甲信越地区	姫路 (079) 234-9571
新潟 (025) 274-6914	中国地区
栃木 (0285) 25-3536	中国 (082) 282-8111
茨城 (029) 273-7424	岡山 (086) 263-3022
筑波 (029) 826-5851	山口 (0835) 23-7705
甲信 (0266) 56-6222	山陰 (0854) 22-5552
高崎 (027) 377-9902	四国地区
東京 (047) 451-3111	四国 (087) 882-1212
関東甲 (03) 5245-0358	九州地区
埼玉 (048) 728-8521	九州 (092) 651-0131
横浜 (045) 540-2731	北九州 (093) 582-1175
北陸地区	南九州 (099) 260-2818
北陸 (076) 420-5411	

<http://www.hitachi-ies.co.jp>

信用と行き届いたサービスの当社へ